リハビリテーション科学部
総合型選抜

総合型選抜　課題レポート

2022年度　北海道医療大学リハビリテーション科学部総合型選抜

課題レポート問題

問題 次の文章を読み、後の設問（**問１**、**問２**）に答えなさい。

みなさんが大人になったとき、自分の住んでいるまちや日本の社会、そして世界の様子がどうなっているか、想像したことはありますか？

おそらく、考えている以上に、これからの世の中は今とは違った世の中になっていることでしょう。車はガソリン車よりも電気自動車が多くなり、自動運転も進化していることでしょう。もしかしたら、車は家ごとにもつのではなく、共同で「シェア」してもつ人がますます増えているかもしれません。太陽光発電や風力発電も、今よりもずっと普及し、自然の力でエネルギーをつくることが当たり前になっているように思います。会社に行かなくとも、仕事は自宅からコンピュータ経由で行えるようになり、その結果電車の混雑も緩和されることでしょう。そもそも、インターネット社会の進化や人工知能の発達で、仕事の種類も変わっていることでしょう。

そんな世の中で、みなさんが何をして、どんな社会を目指せば良いか、その「道しるべ」となるのがSDGs（注１）です。

SDGsとは、2030年の世界の姿をあらわした目標の集まりです。なんとすごいことに、国連のすべての加盟国がこの目標に合意しています。そして、あらゆる分野の目標がカバーされています。あらゆる、といっても、大きく言えば３つの種類に分けることができます。

ひとつ目は、経済に関すること。 どうやって経済を成長させるか、どのように産業や技術を革新していけば良いか、仕事の仕方はどうすれば良いか、といったことがここには含まれます。

２つ目は、社会に関すること。 貧しい人や飢餓に苦しんでいる人をなくし、健康な人を増やしていく。教育がいき渡り、生活しやすいまちや都市をつくる。 男女の差をなくして、みんなで協力して平和な社会をつくっていく。差別や格差をなくしていくという考えが基本にあります。

３つ目は、環境に関することです。 環境と言うと、海や陸地の環境が真っ先に思い浮かぶかもしれませんが、それだけではありません。気候変動のような地球環境問題は、エネルギーの使い方や、私たちが日ごろから口にする食べ物や水といった資源のつくり方や使い方、そして処理の仕方に大きくかかわってきます。

こういった課題をすべて集め、17個の目標にまとめあげたのが、SDGsなのです。17個の各目標の下には「ターゲット」といわれる、より具体的な目標が掲げられており、その数は全部で169個に及びます。17の目標と169のターゲット。これが、2015年9月の国連総会で採択されたSDGsなのです。

蟹江憲史「2030年の経済・社会・環境を考えよう」（一般社団法人Think the Earth編著『未来を変える目標　SDGsアイデアブック』紀伊国屋書店、2018年）より抜粋

（注１）SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称

問１　SDGsの目標の一つに、「保健に関わる目標：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」がある。この目標を地域社会で達成するために、あなたが志望する学科のリハビリテーション専門職はどのような役割でどのように貢献できるのか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

問２　SDGsは、ひとつの目標を考えて行動することにより、他の目標の達成につなげられることが特徴である。**問１**で述べた役割や貢献から、SDGsに掲げられた３つの目標、すなわち「経済」、「社会」、「環境」のいずれかの目標達成にどのように波及してゆくのか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。